

第1学年 図画工作

第1学年の学習到達目標

- (1) 表したいこと、つくりたいものを自分の表現方法でつくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料をもとにした造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。
- (3) かいたり、つくったりしたものなどを見ることに興味をもち、その楽しさを味わうようにする。

第1学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	みつけたよ	1年生で学習する図画工作のめあてを知る。 教科書を見ながら、見つけたことや、してみたいことを話し合う。	教科書の作品の楽しいところや工夫しているところを見つける。 「いろとようぐのホームページ」や「ぞうけいずかん」などの見方や使い方を知る。
	すきなものな あに	思いついた好きなものを絵にかく楽しさを味わう。 気に入った色のクレヨンなどで思ったようにかいていく。	かきたいものを思い浮かべ、気に入った色を使って、表したいようにかく。 友達と絵を見せ合い、好きなものについて話し合う。
	みんななかよし	一枚の紙をまわして切り、長く続いた形に変わることを楽しむ。 切ったものを吊るして、その形の面白さを味わう。	はさみを使って紙を長く切る方法で、様々な紙を切って楽しむ。 切り終わった形を吊るし、紙の形や色、動きの楽しさをみんなで味わう。
	でてきたできた	身近な場所を使って、積んだり、かいたりする全身的な活動を楽しむ。 身のまわりにある材料を使って、好きな形をつくりだす。	校庭など、活動に適している場所を選び、全身を使って、好きな形やつくりたいものをつくりだす。
	ねんどでたし ざん	粘土に親しみ、粘土の感触を自分の手になじませる。 いろいろな粘土の形をつくり、積んだり並べたりして、表し方を工夫した作品にする。	いろいろな形の組み合わせを考え、自由に見立てをし、表し方を工夫してつくる。
	きょうかしよ びじゅつかん	身近なものもっている手触りに関心をもち、積極的にそれらに触れて感じ取る。 様々な材料の手触りの違いや、自分が心地よいと思う手触りを見つける。	自分の文具や教室にあるもの、校舎内や校庭などでいろいろなものを触って、その手触りに違いがあることを感じ取る。
	どんどんなら べて	身のまわりにある材料を生かし、いろいろな並べ方を自分なりに工夫する。 お互いに協力して活動する。	いろいろな材料をそろえ、場所や材料を決めて、並べ方を工夫して楽しむ。 みんなで協力してつくる。
	はこハコはこ	いろいろな大きさの箱を集めて、積んだり、並べたりして、つくりたい思いをもつ。 思いついたことをもとにして、つくり方を工夫して表す。	いろいろな大きさの箱を積んだり、並べたりして、つくりたい思いをもつ。 思いついたことをもとに、思いを広げてつくり方を工夫して表す。
後期	こっちにおいでよ	場所から感じたことを膨らませ、友達と、身近な材料で、囲んだり飾ったりする。 友達と中に入ったり、外から見たりして楽しむ。	教室や校庭で、中に入って楽しめそうな場所を見つけ、友達と身近な材料で、囲んだり飾ったりする。
	おもしろいか たちいっぱい	石の形を見たり、並べ方を変えながら、いろいろな形を思い浮かべたりして楽しむ。 石の形や色を生かしたり、着色したりして好きなものをつくる。	石の形や色を生かして、並べ方や組み合わせ方を試し、気に入った形を選ぶ。 クレヨンや絵の具などで着色して、つくりたいものをつくる。
	みて、みて、お はなし	物語やお話から思いを広げて、絵や立体に表す楽しさを味わう。 表したい場面への思いを、自分の好きな表し方で絵や立体に表す。	お話を聞いたり読んだりして、絵や立体に表したい好きな場面を思い浮かべる。 材料や用具を選び、絵や立体に表したい場面を工夫して楽しく表す。
	たのしいなす ごいな	動物と触れ合ったり、見たりして、心を動かされた場面や想像したことを絵に表す。 自分の感じたことを表せるように大小に気をつけて、工夫して表す。	動物と触れ合ったり、見たりした中で、驚いたり、発見した場面を思い浮かべる。 動物のすごいなと思ったこと、動作の面白さなどが伝わるように、形や色を工夫して表す。

後期	ウキウキドキドキ	日頃の生活の中から、楽しかったことや驚いたことを絵に表す。 伝えたい気持ちが表せるように、クレヨン・パスなどの使い方を工夫して絵に表す。	ウキウキ、ドキドキしたことを話し合い、自分のかきたいことを見つける。 画用紙の大きさや色を選び、形の大小や色を工夫して絵に表す。
	ペタペタペタン	身のまわりにあるものに、絵の具をつけて、うつして楽しむ。 うつす材料の形や色をいろいろ試しながら、好きなものをつくる。	版になるものを身のまわりから探し、版に絵の具をつけて、いろいろうつしてみる。 版の向きや、絵の具の色を変えたりしながら、思いついた形をつくる。
	ニョキニョキ コロコロ	息を吹き込むと飛び出す仕組みを理解し、その動きの楽しさや面白さに関心をもつ。 飛び出す仕組みの面白さを生かした楽しいおもちゃを工夫してつくる。	細長いビニール袋とストローをしっかりとセロハンテープでとめ、それを箱に組み込む。 何が飛び出したら楽しいかを考え、飛び出すものを色画用紙や油性ペンなどを使って表す。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【造形への関心・意欲・態度】 表したいこと、つくりたいものを自分の表し方で作りだすことやつくったものなどを見ることに関心をもち、進んで造形表現活動を楽しもうとする。</p> <p>【発想や構想の能力】 感じたことなどをもとに想像力を働かせ、表したいことを見付け、その思いをふくらませながら表したりつくり方を考えたりする。</p> <p>【創造的な技法】 かいたり、つくったりしながら、思いのままに体全体の感覚や技能を働かせる。</p> <p>【鑑賞の能力】 かいたり、つくったりしたものの造形的な面白さなどに気付いたりして、楽しく見る。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>主に構想を練る段階での積極性、学習への取り組み状況、完成作品などを評価します。</p> <p>制作前、制作途中、完成後の発想や構想を評価します。</p> <p>学習過程における感覚、技能の習熟状況、完成作品から評価します。</p> <p>教科書作品や児童相互の作品を鑑賞し、おもしろさや工夫を見付けて楽しんでいるか評価します。</p>
--	---

特色ある学習方法

<p>(1) 制作活動を行う上で、1年生の発達段階に応じた用具・材料の扱い方の基礎基本を身に付けます。</p> <p>(2) 一人一人の思いや活動を大切に学習を計画し、生き生きと楽しく活動し表現し鑑賞し合う学習へつなげていきます。</p> <p>(3) 制作を効果的に進めるために、学習環境を整えるなど事故防止に十分留意しています。</p>
--

使用教材等

<p>教科書「みつけたよ 1・2年上」(日本文教出版)</p> <p>学習環境を整えるために、教材セットを使用することがあります。</p> <p>画用紙、色画用紙、色紙、絵の具、フェルトペン、クレヨン、粘土、はさみ、のり、生活用品などを活用します。</p>
--

留意事項

<p>身近な材料(ビニール袋・新聞紙・箱・石など)を使用して造形活動を行います。事前にお知らせしますので、準備をお願いします。</p>
